

令和5年度 コミュニティ提案型まち活性化事業 活用事業のご紹介

1 はじめに

- 佐久穂町では、コミュニティ団体が主体となり企画実施する、まち活性化事業に対し、補助金を交付しています。
- 令和5年度「コミュニティ提案型まち活性化事業補助金」を活用し、コミュニティ団体が提案・実施した、まちの活性化を図る事業の概要を5つご紹介します。
- 皆さんも様々なコミュニティの一員として、ご自身のこれまでの経験や保有する人脈、蓄積されたノウハウ等をまち活性化のために活かしてみませんか。皆さんのアイデアややる気を実現するための事業の提案をお待ちしています。
- 本内容は、事業実施団体から提出された事業提案書、実績報告書等の内容に基づき総合政策課が作成したものです。

補助金の種類	補助率・限度額・補助回数
(1)チャレンジ部門 (新規設立団体向け) 「何か始めてみよう」という団体の皆さんにまちづくりへの参加のきっかけを得てもらうことが目的です。 新規に団体を設立し、事業を実施する場合は該当し、具体的には申し込み時点から起算して設立1年以内の団体を対象とします。	補助率：10/10以内 限度額：20万円 補助回数：1団体1回限り
(2)ステップアップ部門 (既存団体向け) すでに活動している団体の皆さんに、さらに力を伸ばしてもらうことが目的です。既存事業の発展や新たな事業の確立等段階的にステップアップするための取組が該当します。	補助率：1/2以内 限度額：20万円 補助回数：1事業3回まで
(3)集落部門 (区、常会向け) 佐久穂町内の区や常会が、地区の問題点や課題、将来の姿、集落で具体的に取組むこと等検討し将来計画を策定することが目的です。地区の役員だけでなく、女性や若者を交えての計画策定が該当します。	補助率：10/10以内 限度額：5万円 補助回数：1団体1回限り

2-1 事業紹介(1)

事業名	「あははの輪」事業
団体名	れい輪の会
団体区分	地域コミュニティ
事業区分	ステップアップ部門(3回目)

事業目的

- コミュニケーションの場を作り、脳を活性化させることで健康寿命を延ばす。
- 地域リーダーの育成を図るとともに、健康と福祉の増進及び会員相互の情報交換と地域コミュニティに積極的に参加し、子供から高齢者まで笑顔でいきいきと、年齢を重ねられるよう活動する。

事業内容

- フレイル予防として、屋内では歌や健康体操、脳トレを実施し、屋外ではハイキングなどの活動を行い、免疫力のある体を作る。
- 社協と連携し、地域サロンの講師として、脳の活性化、健康づくりや生きがいづくりにつながる様なゲームを行い、仲間との交流を深める。

事業効果

- 脳の活性化や健康づくりが、健康寿命を伸ばすことにつながった。
- 各地区やサロンにも参加し、会員の連帯感や仲間意識が高まった。
- 楽しくできることを仲間と共有することで、人生が豊かになり、生きがいづくりにつながった。



リズム体操



ミニ運動会

2-2 事業紹介(2)

事業名	佐久穂型ふるさと遺産活用モデルR5 ～むかたんコミュニティ・社会学融合～
団体名	佐久穂町ふるさと遺産収蔵館友の会
団体区分	課題・テーマ共有型コミュニティ
事業区分	ステップアップ部門(1回目)

事業目的

- 地域のふるさと遺産を次世代へ継承していく
- ふるさと遺産を知る地域の「ローカルスタディ」の場として活用
- 地域の団体・学校と連携して社会学融合を進めていく

事業内容

- 社会学と学校教育の連携し、学びを支える体験活動の機会と場を提供
- ふるさと遺産一般公開
- むかたんクラブ開講、講演会の実施

事業効果

- 小学校のクラブ活動や中学校の地域交流企画で、昔の道具に触れた児童や生徒が、現在の生活のよりよさを感じ、大人が昔の懐かしさを感じるなど、子どもから大人まで自ら学び、自ら考え、楽しむことにつながった。
- ふるさと遺産一般公開には、のべ600名ほどの参加があり、実際に体験し学ぶことで、ふるさと遺産を次世代に継承していくきっかけになった。



機織り体験



火起こし体験

2-3 事業紹介 (3)

事業名	フレイル予防で健康長寿
団体名	さらば不健康クラブ
団体区分	地域コミュニティ
事業区分	チャレンジ部門

事業目的

- フレイル予防に励み、健康寿命をのばして、元気で豊かな人生を楽しむ。
- コミュニケーションの場を作り、交流を深め、楽しく元気に活動する。

事業内容

- ストレッチや運動、脳トレ、参加者交流の実施
- 専門家による身体の痛みチェック等の特別講座開催

事業効果

- ストレッチや運動、脳トレやゲームを通して、楽しく元気にフレイル予防を行うことができた。
- 月に1度活動することで参加者も増え、仲間との交流を深めることに繋がった。
- 専門家による特別講座では、自分の身体の状態について知ることができ、健康について改めて考え直すきっかけになった。



ストレッチ



脳トレゲーム

2-4 事業紹介(4)

事業名	さくほでつむぐコミュニティ
団体名	ネストさくほ
団体区分	課題・テーマ共有型コミュニティ
事業区分	チャレンジ部門

事業目的

- 集団活動が苦手な子どもや大人が、地域と触れ合う機会を作り、知ってもらえる事や受け入れてもらえる安心感の持てる繋がりを増やす。
- 地域の文化を知り、興味関心を通じて他社との関係を深め、コミュニケーション能力の向上を図る。それぞれの得意分野を活かし、協働しながら、互いに認め助け合うコミュニティを目指す。

事業内容

- 地域の文化を知るために、キャンプや川遊び、野菜の収穫や薪割体験、餅つき、雪遊びなど、季節ごとに楽しめる場を提供
- 薬草教室や工作教室、お正月飾り教室など、体験できる場を提供

事業効果

- 延べ 358 名もの子どもたちに参加いただき、交流することができた。
- 多くの子どもたちと地域で活動することで、異世代交流の場が生まれ、子どもたちと地域を繋ぐコミュニティ作りができた。



サマーデイキャンプ



オーナメント作り

2-5 事業紹介(5)

事業名	踊り音楽ミングル
団体名	さくほミングル
団体区分	課題・テーマ共有型コミュニティ
事業区分	チャレンジ部門

事業目的

- 他者と共に生きる喜びを感じられる場を作り、他者との違いを受け入れることができるようにする。
- 障がい者施設で、音楽や踊りを通して交流を深め、施設自体が町に開かれた存在となることを目指す。

事業内容

- 表現活動自体に慣れるために、子どもたちと表現ワークショップを行う。
- ワークショップで他者との交流を深める場を作り、踊りや音楽で楽しみながら自分を自由に表現し、新たな表現を見出すことに繋げる。

事業効果

- いつも生活を共にしている仲間たちとワークショップを行うことで、仲間の新たな一面を発見し、自分の中の新たな表現を見出すことができた。
- 一人一人がやりたいように踊ることができるようになり、自分を素直に自由に表現できるようになった。
- 踊りや音楽を通じて他者との交流が深まり、自然とコミュニケーションをとることができるようになった。



身体表現ワークショップ